

川崎市在住の彫刻家による「複製」をテーマとした展示

企画展「袴田京太郎 隠された、」を開催します

川崎市市民ミュージアムでは、令和 8 年 3 月 6 日(金)から Museum+205 (川崎市役所本庁舎復元棟 2 階)にて、企画展「^{はかまたきょうたろう}袴田京太郎 隠された、」を開催します。

市内在住の彫刻家である袴田氏は、これまで彫刻でよく使われる素材とは異なる日用品や電線、アクリル板などを用いて制作を試みてきました。近年は「複製」をテーマに制作に取り組み、オリジナルとコピーそれぞれの本質、そして両者の関係性を探求し続けています。本展では、袴田氏のふたつの作品を中心に展開します。ひとつは 3 つのバラバラな要素が大きなカーテンを介して共存する作品《ザンダー》(令和 5 年)です。タイトルでもあるドイツの写真家アウグスト・ザンダー(1876-1964)の写真作品《盲学校の子ども》をモチーフにした人型の彫刻が、この作品の核となります。もうひとつは、川崎市ゆかりの彫刻家・^{えんつばかつぞう}圓鰐勝三(1905-2003)の作品《裸婦と佛》をモチーフにした、発泡スチロールの積み重ねを用いて制作された高さ 3m にもなる新作の大型作品です。いずれの作品も見えていないはずのものが創り出されていたり、不確かさの存在を認識しながら制作されていたりと、どこか曖昧で危うい何かが潜んでいます。



袴田京太郎《ザンダー》(部分)
令和 5 年

《開催概要》

会 期：令和 8 年 3 月 6 日(金)～ 3 月 29 日(日)(月曜日休室)

時 間：9:30～17:00 (最終入場 16:30)

会 場：Museum+205 (川崎市役所本庁舎復元棟 2 階) (川崎区宮本町 1 番地)

観覧料：無料

《作家略歴》

袴田京太郎 Kyotaro Hakamata

昭和 38 年静岡県生まれ。昭和 62 年武蔵野美術大学造形学部彫刻学科卒業。

平成 6 年文化庁芸術家在外研修員。平成 8 年五島記念文化賞美術新人賞。

平成 23 年タカシマヤ美術賞。主な個展として、静岡市美術館(平成 23)、

平塚市美術館(平成 26)、富山県美術館 TAD ギャラリー(令和 5)。

主なグループ展として「DOMANI・明日展 2021」国立新美術館、

「瀬戸内国際芸術祭 2025」など。主な収蔵先は、愛知県美術館、

宇都宮美術館、川崎市市民ミュージアム、佐久市近代美術館、

資生堂アートハウス、東京国立近代美術館、富山県美術館、他。



圓鰐勝三《裸婦と佛》
昭和 51 年
撮影：加藤 健
※参考作品

《関連事業》

視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ

目の見える人、見えない人、見えにくい人がナビゲーターや学芸員と一緒に対話しながら作品を見るワークショップです（※詳しい作品解説は行いません）。

開催日：令和8年3月22日（日）①10：30～12：30 ②14：00～16：00

会場：Museum+205（川崎市役所本庁舎復元棟2階）

定員：各回7名（事前申込制）

参加費：無料

ナビゲーター：視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ

対象：障害の有無に関わらず、どなたでも（中学生以下の方は保護者同伴）

手話の必要な方には手話通訳者がつきます。

申込方法：川崎市市民ミュージアムのWebサイトから

申込期間：令和8年2月20日（金）10：00～3月10日（火）16：00

※1組2名まで申込可、申込多数の場合は抽選

※参加の可否を3月13日（金）までにメールでお知らせします

▼申込・イベントWebサイト

<https://www.kawasaki-museum.jp/event/32319/>



主催：川崎市市民ミュージアム

《展覧会記録集》

川崎市市民ミュージアムのオンラインショップにて、令和8年3月発売予定。

（予定価格800円、送料別）

《企画展Webサイト》

<https://www.kawasaki-museum.jp/exhibition/32202/>



【問合せ先】川崎市市民文化局

川崎市市民ミュージアム 古泉

電話：044-712-2800